

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会会議			
開催日時	令和7年8月26日（火） 開会時刻 午前10時00分 閉会時刻 午前11時00分			
開催場所	ふじみ野市役所第4庁舎2階D201会議室			
出席した者の 氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	青柳一美	委員	清水篤史
	副委員長	山崎博	事務局 (課長)	木村裕之
	委員	湯本貴幸	事務局 (副課長)	鍋島直久
	委員	田邊紗菜	事務局 (係長)	笠掛裕子
	委員	柳川智哉	事務局 (主任)	近藤彩香
	委員	北見由美子	事務局 (会計年度 任用職員)	宮内菊枝
	委員	桑子恵美	統括コー ディネーター	伊藤照子
会議の議題	議事 1 令和6年度放課後子ども教室の活動報告について 2 令和7年度放課後子ども教室の活動状況について 3 その他			
会議の公開又は 非公開の別	公開			
会議の非公開の 理由				

	傍聴人の数	0人
	会議の内容	別紙のとおり
	会議資料	別添のとおり
	事務局	教育部社会教育課
議 事 の 確 定	確定年月日	令和7年9月2日
	記名押印 又は署名	役職名 <p style="text-align: center;">議長 青 柳 一 美 ㊟</p> <p style="text-align: center;">※自署の場合は、押印不要です。</p>

別紙

発言者	発言の要旨
事務局 (木村)	開会及び会議の成立の報告 ・出席者8名、欠席者3名で会議成立と傍聴者0名を報告
青柳議長	開会挨拶
各委員	委員自己紹介（委員名簿順）
事務局	事務局自己紹介
事務局 (木村)	ここからの議事については、青柳委員長に議長として進行を依頼。
青柳議長	進行 会議資料確認
事務局 (近藤)	会議資料確認
青柳議長	議事進行 議事（1）令和6年度放課後子ども教室の活動報告について
事務局 (笠掛)	・資料1に基づき、「ふじみ野市放課後子ども教室運営委員会」の概要として、根拠条例、報酬、事業実施要綱について説明。
事務局 (近藤)	・資料2の2、3に基づき令和6年度の活動報告として、活動内容、活動日数、登録人数等について説明。
青柳議長	議事進行 質疑応答（質問なし）
事務局 (近藤)	議事（2）令和7年度放課後子ども教室の活動状況について ・資料2の3に基づき「令和7年度の開室状況について」説明。 ・資料2の4に基づき「登録指導員数について」説明。

青柳議長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2の5に基づき「特別支援サポータの配置について」今年度の配置状況の説明。 ・資料3に基づき応募、登録、待機状況について説明。 ・資料4に基づき応募リーフレットについて説明。 ・資料5に基づき活動日程について説明。 ・資料6に基づき教室配布のおたよりについて説明。 ・資料7に基づき全校活動報告について説明。 <p>議事進行 質疑応答</p>
桑子委員	<p>資料3の登録状況について、表の見方を説明してほしい。 例えば、参加児童の数が年度当初定員に達していないにもかかわらず待機児童が生じている理由は何か。</p>
事務局 (近藤)	<p>年度当初定員は活動教室の広さによって置ける机の数や、配置可能な指導員の人数に応じて各校設定している。その際、指導員1人当たりの児童の数は約7人としている。ただし、参加児童の中に特別支援学級に通う児童がいる場合はその限りではないため、当初予定していた定員まで受け入れることが難しく、やむを得ず待機児童が生じている状況にある。</p>
山崎副議長	<p>資料2の3の放課後児童クラブとの連携について、12教室あって11回実施というのは、どこかの学校が連携をしていないということか。</p>
事務局 (近藤)	<p>学校の特別日課や振替休業と放課後子ども教室の開催日が重なり、他校に比べ開催日数が限られてしまった教室があり、学期内に連携を行うことができなかった。2学期以降に調整して実施する予定としている。</p>
青柳議長	<p>議事進行 3 その他</p>
事務局 (笠掛)	<p>昨日開催された指導員代表者会議と研修会について、担当より報告させていただく。</p>

<p>事務局 (近藤)</p>	<p>指導員代表者会議にて、各校のコーディネーターより1学期の実施について報告があがった。その中で、事務局としても運営方針を検討すべき内容があったため報告させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野台小にて、活動日に学校周辺で不審者の情報が出されたことがあった。学校では一斉下校の対応がされたため、放課後子ども教室でも保護者へ連絡をとり、極力お迎えを依頼した。ただし、お迎えに来ることができない世帯や連絡がつかない世帯の児童が5名ほどおり、同じ方面の指導員が付き添い下校するという対応をとった。緊急の対応であったが、上野台小の指導員の多くは学区内に居住しているため、協力を得ることができた。こういった緊急事態の対応方法を様々な状況に応じて検討しておく必要がある。 ・西小学校にて、外国籍の児童・保護者との対応への不安について。活動中は児童同士のコミュニケーションもあり、意思疎通が取れているが、怪我やトラブルがあった場合に児童や保護者との意思疎通に不安があるとの報告があった。今後多様な言語への対応として人材や機器の導入を検討している。 ・複数校からの報告として、指導員・学校・事務局の情報共有の強化の必要性があげられた。活動教室の変更や日課の変更など、相互の情報共有を強化していきたい。
<p>青柳議長</p>	<p>質疑応答</p>
<p>山崎副議長</p>	<p>指導員の参加校の上限など制限はあるのか。</p>
<p>事務局 (近藤)</p>	<p>上限は設けていない。 年度末に、次年度の参加校の希望調査を実施しており、その回答をもとに配置を決定している。</p>
<p>山崎副議長</p>	<p>他校の様子を見学することはできるのか。</p>
<p>事務局 (近藤)</p>	<p>見学は可能。毎週参加でなくとも、単発の応援という形で参加してもらうこともある。</p>
<p>青柳議長</p>	<p>指導員の中には何校も掛け持ちをしている方がたくさんいる。元々は地域の方が参加するという形で始まった事業。若い方はお仕事をされている方が多く、そうすると年齢を重ねた方が多くなる。支援が必要な児童については指導員が付きっきりになってしまうこともあり、常々新しい方に入っていたいただきたいと思います。</p>

山崎副議長	市報で募集した結果はどうだったのか。反応がなかったのであれば、違うルートを検討した方がいいのではないか。
清水委員	指導員はどれくらい不足しているのか。その場合、市報以外に周知方法はあるのか。
事務局 (近藤)	これまでは学校の現場で児童と直接関わるという観点から、地域の指導員からの紹介で輪を広げてきた。市報で募集をしてみたところ、問合せは数件あったが、今のところ登録には至っていない。
清水委員	ボランティアとはいえ、児童に直に接する立場であるため、面接などは丁寧に行う必要がある。学校現場で児童と校庭などで走ったり遊んだりしている姿を見ると、本当に頑張ってくださっていると思う。定期的に周知することで、定期的に目に入るようになると思う。
山崎副議長	シルバー人材センターへ声を掛けてみるのはどうか。
清水委員	各校の学校運営協議会にも地域の方が参加している。相談してみてもどうか。
田邊委員	スポット的な形ではなく通年での参加ではないといけないのか。
事務局 (近藤)	指導員によっては月1回や隔週で参加している方もいる。参加できる範囲でも参加していただきたい。
湯本委員	<p>保護者から色々話を聞いていると、「毎週行かなければならない」など型にはめられるのはハードルが高く、重荷に感じてしまう。</p> <p>また、低学年の保護者はお迎えがあると思うが、保護者への声掛けはしているのか。</p>
青柳議長	参加の保護者へも声掛けをするが、なかなか参加には繋がらない。三角小の放課後子ども教室では2学期の2回目に児童を中心に実施する「こどもまつり」を企画している。その日は保護者の見学を積極的に声掛けしている。そういう企画があると保護者も見学しやすい。見ていただくことで興味を持ってもらえるかもしれない。
湯本委員	学校現場はどこを見ても人手が足りない状況。スクールガードリー

	<p>ダーもご高齢な方が多い。60代でも普通に働いているような働き方の変化を見ると、考え方を考えていかねばならない。「出来る人が出来る時に」というのが学校運営協議会のスローガンでもあるが、持続していくためには新しい発想が必要。</p>
田邊委員	<p>保護者として感じたことだが、責任が重いというのがあるのではないか。同じ学校に通う保護者同士という関係性もあり、自分が見ていた中で児童に何かあったらと思うと重く感じてしまう。</p>
桑子委員	<p>新たな取り組みについて情報提供させていただく。子どもの居場所づくりというのが叫ばれている中で、放課後児童クラブというのは保護者が就労しているという大前提があり、生活の場の提供や健全な遊びの場の提供を目的としている。そこで、その保護者の就労という要件を取っ払う自治体も出てきている。保護者が就労していないご家庭のお子さんでも、希望があれば預かるということになる。放課後子ども教室との棲み分けや新たな取り組みや差別化ということも考える必要がでてくるかもしれないということをご紹介させていただく。</p>
青柳議長	<p>議事進行</p>
山崎副議長	<p>閉会の挨拶</p>